

開催概要

「防災フェスタ 2008 in みどり」が、11月23日(日)に緑区役所講堂・駐車場で開催された。この催しは、平成19年3月4日、市民・企業・大学・行政の協働により名古屋大学を会場としてスタートし、「住民に身近な地域での開催を」との提言を受け本年3月末の港区会場を経て、今回緑区での開催となった。

緑区は、名古屋市内で最大の面積を有し、人口も23万人になろうとしている。町並み保全第1号に指定された有松町を含め、旧東海道宿場町鳴海・酒蔵がある大高など、いつまでも守り残していかなければいけない古き良き街並みが多い地域だが、旧区民より新しい区民の方が多くなり、地域のつながりが薄れてきている地域でもある。

近い将来必ず起きると予想されている東南海地震では、この緑区においても震度6弱の強い揺れと大きな被害が予測されおり、少しでも災害を減らすためには、地域の助け合いが不可欠である。そこで、「地域のつながり」を強固にし、また個々の家庭や地域での備えを学ぶための防災フェスタを「名古屋みどり災害ボランティアネットワーク」の企画・運営により開催するとした。

当日は、天候にも恵まれ、参加者は、特に「テーマ」である「地域のつながり」を主に、緑区内で活動している企業・団体に参加を呼びかけ29参加企業・団体合計：86名、運営スタッフ：名古屋みどり災害ボランティアネットワークとなごや災害ボランティア連絡会から合計：100名以上。来場者は幼児からお年寄りまで延べ1,250名程度で成功裏に終了した。

内容

エレベーター救出体験、ダンボールハウス製作、ガラス割り体験、緊急地震速報、伝言ダイヤル171、耐震相談、家具固定の実践、防災フィルム張り体験、AED講習会、防災学習システム、ストローハウス、紙ぶるる、防災ずきん作り、マイコンメーカー取り扱い、防災カフェ、アレルギー支援、花水緑の会などなど30を超える様々な体験、展示コーナーが設けられた。

周知について

今年3月港区の開催終了後、福和先生の「次はどこが開催する？」とお言葉に、みどりVNWとして、今年設立5周年を迎えるに当たり、記念行事として何かをしたいという希望があり、参加表明をしました。

4月の総会で承認され、集客に向けての地道な活動が始まりました。地域に向けて区政協力委員長会議に参加しPR。区内組回覧で配布の承諾を得、チラシ6800枚を準備しました。他には、独自の出前防災講座や防災訓練会場、イオン有松店内でのチラシ配布、コミセンはもちろん、市バス車内に吊り下げ広告しました。チラシ作成は名古屋大学大学院福和・飛田・護研究室で作っていただき、随分助かりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

主催：なごや災害ボランティア連絡会

【災害ボランティアコーディネーターなごや、NPO法人レスキューストックヤード、防災ボラネット守山（20年度座長）、名古屋みなと災害ボランティアネットワーク、名古屋みどり災害ボランティアネットワーク、名古屋きた災害ボランティアネットワーク、天白でいぶり、名東区災害ボランティアの会、名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク、名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク、名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク、名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク、なごやにし防災ボランティアの会、なごや防災ボランティアネットワーク昭和、あいち防災リーダー会名古屋ブロック、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、財団法人名古屋国際センター、名古屋市】

企画・運営

名古屋みどり災害ボランティアネットワーク

共催

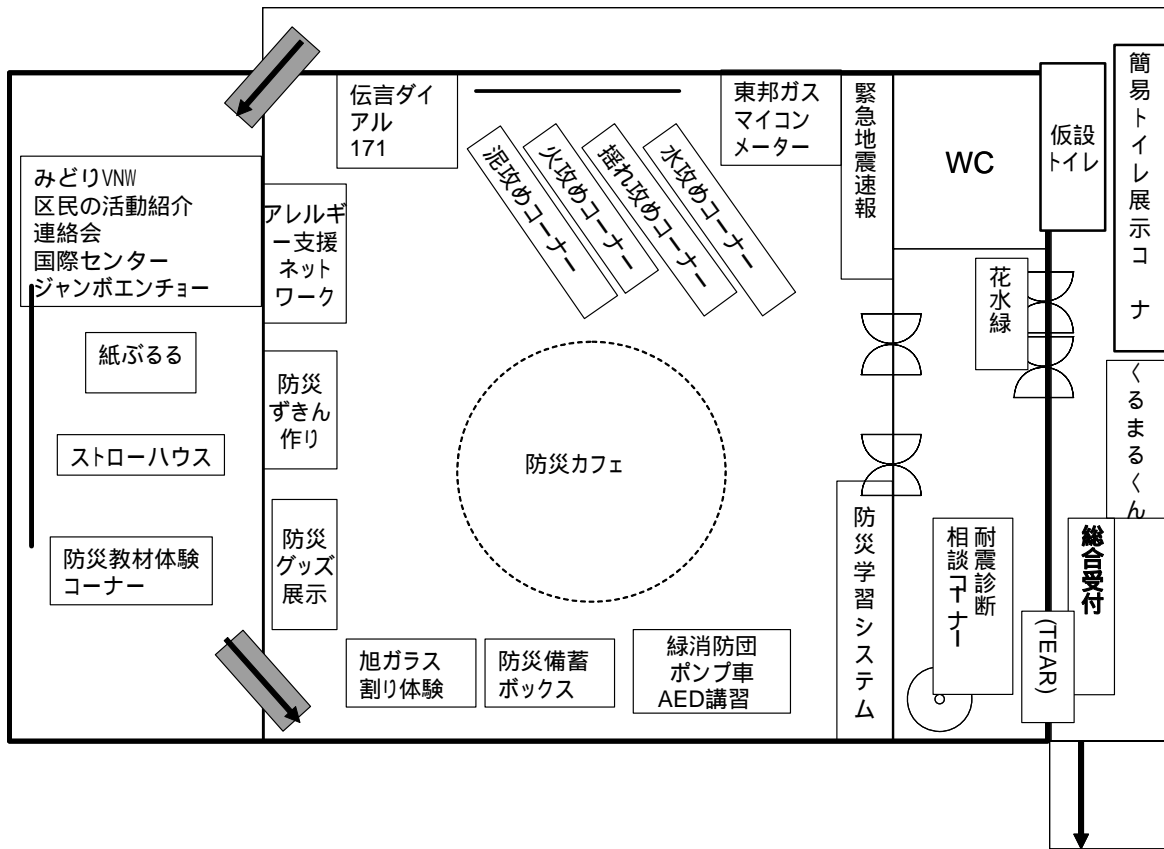
名古屋大学環境学研究科 福和・飛田・護研究室
名古屋大学災害対策室、社団法人名古屋建設業協会
旭硝子ガラスパワーキャンペーン、緑区役所、緑消防署

後援

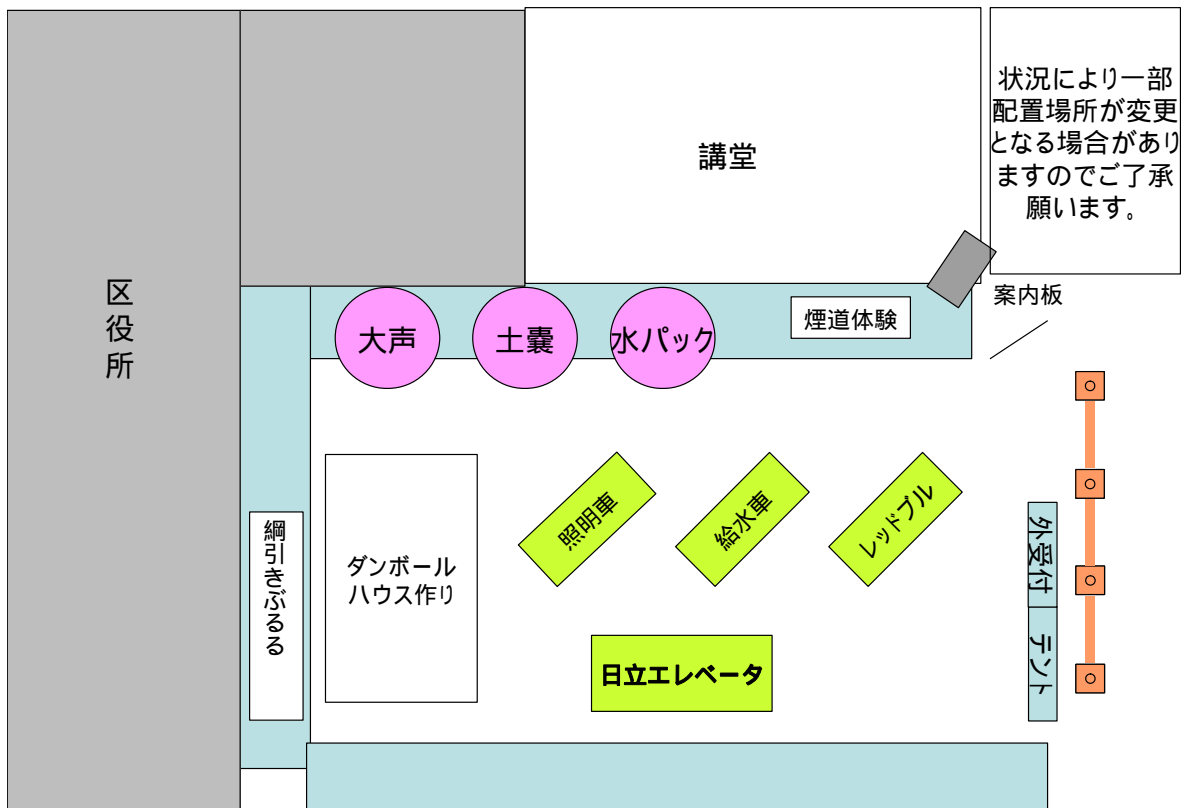
内閣府防災担当、国土交通省中部整備局、名古屋地方气象台、愛知県、
防災のための愛知県ボランティア連絡会

参加企業及び団体

愛知県防災局(防災学習システム)・国土交通省中部整備局(照明車)・名古屋大学・旭硝子株式会社(ガラス割り体験)・名古屋地方气象台(緊急地震速報)・株式会社日立ビルシステム(エレベーター救出体験)・社団法人名古屋建設業協会(土のう5連ちゃん)・NPO法人アレルギーネットワーク・株式会社左合木材(ダンボールハウス)・東邦ガス株式会社(マイコンメーター)・カネコ産業株式会社(トイレくるまるくん)・ダイドードリンコ株式会社(救災ベンダー・飲み物提供)・ジャンボエンチョー鳴海店(防災グッズ展示)・住宅耐震化アドバイザー推進協議会・NTT(171体験回線提供)・アメジスト大衛株式会社(レスキューママ)・寝袋・国際センター・花水緑の会(花の苗提供)・緑消防団(AED講習会)・緑消防署(ユニモグ・煙道体験)・緑環境事業所(仮設トイレ)・上下水道緑営業所(給水車)・緑区役所緑区社会福祉協議会・報道機関各社・ティア緑(防災用品提供)・緑警察署(物差し・ティッシュ提供)



(1) 講堂内



(2) 屋外駐車場

図 1 : 会場案内図

「防災フェスタ2008 in みどり」タイムスケジュール

201120 作成

8:00	集合（講堂内・本部）	講堂内		屋外駐車場
	出席確認：担当発表			屋内で一緒に
	それぞれの準備に			それぞれの準備に
8:45	上下水道 P へ車移動			
9:30	最終チェック			コーナー責任者確認
10:00	オープニング			オープニング
	司会(宮島 恵)			
	代表挨拶：岡田 雅美 主催者挨拶：鷲見 修氏 名古屋大学側挨拶：福和 伸夫氏 来賓挨拶：緑区総務課課長 鳶田 善行様			
:20	各ブース紹介コーナー（岡田） PC/プロジェクター（マイク2）	各ブース開始 各ブース紹介コーナー		各ブース開始 各ブース紹介コーナー
10:30		AED 講習会 1 回目		
		ガラス割り体験 1 回目		
11:00	防災カフェ 1 回目 名古屋大学 福和伸夫教授 PC/プロジェクター（マイク2）	名古屋大学福和教授	昼食適宜に	ダンボールハウス作り 最低 10 人必要
:30		ガラス割り体験 2 回目		
12:00	防災カフェ終了			
:30	各ブース紹介コーナー PC/プロジェクター（マイク）	ガラス割り体験 3 回目		
13:00	防災カフェ 2 回目 RSY 代表理事 栗田 暢之氏			
14:00	防災カフェ終了			
:10	防災カフェ 3 回目 大高南学区区政委員長小池田忠氏			
:30		ガラス割り体験 4 回目		
15:00	防災カフェ終了	AED 講習会 2 回目		
:30		ガラス割り体験 5 回目		ダンボールハウス撤収 4 人必要
16:00	終了セレモニー			
	撤収（上下水道 P の車移動）			
17:00	懇親会（第 2 会議室）			
18:00	終了			

図 2：タイムスケジュール



写真1：防災フェスタの始まりです



写真2：総合受付アンケート会場



写真3：防災ずきんつくり



写真4：防災用品コーナー

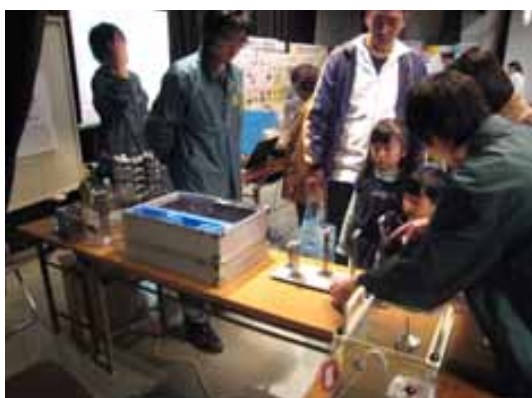


写真5：振動教材を触ってみよう
(いろいろ体験コーナー 名古屋大学)



写真6：紙ぶるるで振動実験



写真7：外国人も災害弱者・国際センター



写真8：ストローハウスで作る強い家

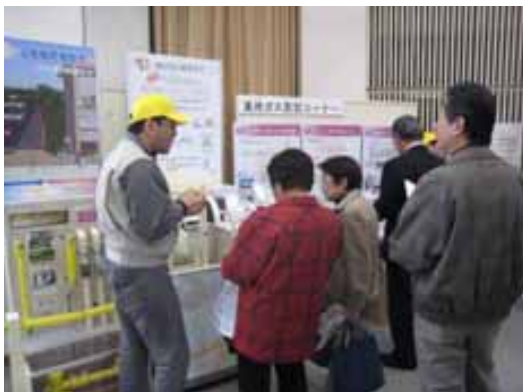


写真 9 : マイコンメータって何？
(東邦ガス)



写真 10 : あなたの住まいの震度は？家は大丈夫？
(防災学習システム 愛知県防災局)



写真 11 : 地震 10 秒前に何を？
(緊急地震速報 名古屋気象台)



写真 12 : 割れないガラスで地震でも安心
(ガラス割り体験 旭硝子)



写真 13 : あなたは助けられますか？
(AED体験コーナー 緑消防団)



写真 14 : 防災用品、揃ってますか？
(ジャンボエンチョー出展)



写真 15 : あなたの住まいの地盤は？
(地名で診断コーナー 名古屋大学)



写真 16 : アレルギー体質でも食事は大丈夫！
(アレルギー支援ネットワーク)



写真 17：使ってみよう！伝言ダイヤル 171
（NTT 災害伝言ダイヤル）



写真 18：エレベータに閉じ込められたら・・・
（防災備蓄ボックス ガイドードリンコ）



写真 19：緑からの地域のつながり
（花水緑の会）



写真 20：飛散防止フィルム張り体験



写真 21：あなたの家は「耐震」ですか？
（我が家の耐震診断コーナー）



写真 22：楽しく防災談義(防災カフェ)



写真 23：防災カフェ、本日のメニュー



写真 24：小池田さん防災談義



写真 25：避難生活はトイレが大変
(トイレくるまるくん)



写真 26：いろいろトイレコーナー



写真 27：台車ぶるる(筋かいを確認)

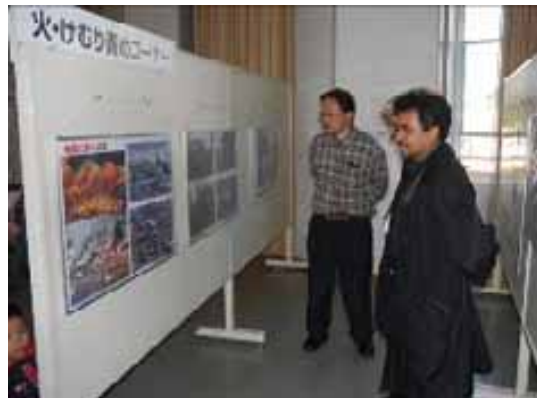


写真 28：外国の方も地震は心配



写真 29：各区のネットワークは？



写真 30：防災カフェ



写真 31：火事だ！煙の中を避難できますか？
(煙道体験コーナー 緑消防署)



写真 32：洪水だ！浸水をシャットアウト
(土のう5連チャン 名古屋建設業協会)



写真 33：火事だ！初期消火が肝心です
（水パック投げ、水消火器）



写真 34：あなたは救出されるか？
（大声コンテスト）



写真 35：作ってみよう避難用仮設テント
（ダンボールハウス）



写真 36：高い建物はこんな揺れ
（綱引きぶるる）



写真 37：地震でエレベータが・・・
（エレベータ閉じ込め体験）



写真 38：夜間の災害救助はお任せ



10 写真 39：水は何で汲む？（給水車体験）



写真 40：緑区にしかない災害対応車両

あとがき

開催日の2、3日前から真冬なみの寒さで、外の活動を心配しましたが、当日は思った以上の暖かさでした。市内各区から参加して頂いた100名を超えるボランティアの皆様のお手伝い本当にありがとうございました。また、異動で緑区から離れた方も、来場者として参加してくださいました。

行政からの参加も多く、特に上下水道局からは「展示の方法が勉強になった。次回もっとスタッフを増やして参加をしたい。」との報告をいただきました。

当日の来場者は老男女を問わず、各種コーナーで気軽に楽しみながらも防災に対する意識が高められた様子でした。

最後の挨拶では、嬉し涙で言葉に詰まってしまいましたが、こんな大きな企画を成功できた秘訣は、やはり皆様のご協力の賜物だと思います。

今後とも名古屋みどり災害ボランティアネットワークはもちろん、なごや災害ボランティア連絡会をよろしく願いいたします。

平成20年12月吉日

名古屋みどり災害ボランティアネットワーク

代表 岡田 雅美

制作・発行： 名古屋みどり災害ボランティアネットワーク
発行日： 2008年12月
写真提供： レスキューストックヤード、名古屋大学

